

平成 28 年 1 月 13 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO兼社長室長 松山哲人
電話番号 03-3241-0553

遺伝子キャリアに関する物質特許が米国にて特許査定を受けました

当社サイエンティフィック・アドバイザーである東京大学の片岡一則教授のグループが開発し、当社が東京大学から国内外の再実施権付独占的ライセンスを取得した遺伝子キャリア（運搬体／担体）の物質特許出願が、米国特許庁から特許査定*を受けました。

【発明の名称】 核酸送達用組成物及び担体組成物、それを用いた医薬組成物、
並びに核酸送達方法
【出願番号】 13/808237
【特許権者】 国立大学法人東京大学

本特許は、カチオン性ポリアミノ酸誘導体である PEG-P[Asp(DET)]と、マイナスに荷電した核酸（例えば siRNA）などからなる高分子イオン複合体を形成させることによって遺伝子をデリバリーする技術の一つです。

当社は日油株式会社に対し、「機能性タンパク質を発現する遺伝子を使用した遺伝子治療分野**」について、本特許技術に関連した独占的な再実施権を許諾し、遺伝子治療以外の分野においてもポリマーの試薬販売に関する全世界を対象とする非独占的ライセンス契約を締結しております。本特許は日油株式会社へのライセンスの根拠となる重要な知的財産です。

尚、本件による平成 28 年 3 月期業績へ直接の影響はございません。

*特許査定：特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を支払うことによって、特許権が発生します。

**遺伝子治療：DNA が組み込まれた発現ベクターと呼ばれる遺伝子発現系が細胞内へ導入されると、DNA の遺伝情報に基づき機能性タンパク質や RNA が合成され、その機能を発現することで疾患を治療するものです。細胞内へ運ぶベクターとして、現在は無毒化したウイルスなどが利用されていますが、より画期的な遺伝子導入法が期待されています。

以上